

おおいたうつくし海岸クリーンアップ作戦～きれいで豊かな海岸を守るために～

現状

県内の各海岸では、NPO、自治会、漁業関係者、民間企業、行政などによって、海岸清掃が行われている。

課題

- 海岸周辺の住民が主体であり、上流域の住民との繋がりが必要。
(森と海は繋がっている、海ごみの大半は陸域でのポイ捨て由来)
- 海岸周辺に生活ごみなどが不法投棄されている事例もある。
(住民の監視の目が必要)
- イベント開催前だけでなく、恒常的な海岸清掃の取組が必要である。

目的

- 河川の上流域も含めて、県民全体の海岸環境の保全意識を醸成する。
- 県民の手によって日頃からきれいな海岸を守る。

取組

強化期間（5月30日(ごみゼロの日)～海の日(7月の第3月曜日)）を設け、おおいたうつくし推進隊など、既存のボランティア団体等を中心とし、県民挙げての海岸クリーンアップを実施。併せて環境学習会等も実施。

既存の団体による海岸清掃活動
例) 中津市 NPO法人水辺に遊ぶ会



県内約100箇所
約17,500人が
海岸清掃実施
(令和5年度実績)

実施主体

■ ボランティア団体等

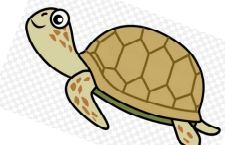
- 参加者の募集
- 海岸清掃の実施
- 環境学習会等の実施 など

行政機関

■ 市町村・県

- ごみの分別など適正処理の指導
- 広報啓発
- 費用の助成 など

連携・協力



問い合わせ先: 大分県循環社会推進課 TEL:097-506-3141